

- 問1 九州地方南部のシラス台地において、古くから水田稲作ではなく、サツマイモなどの畑作や畜産業が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2020年 静岡公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。 | 2. 標高が高く気温が低いため、熱帯性の作物である稲の栽培が困難だったため。 | 3. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を阻害する性質を持っているため。 | 4. 地盤が非常に軟弱であり、重い農機具を利用した大規模な耕作に適さなかったため。 |
|---|--|--|---|
- 問2 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。 | 2. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。 | 3. 標高が高く冷涼な気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。 | 4. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。 |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問3 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 | 2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。 | 3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 | 4. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。 |
|---|---|---|---|
- 問4 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 新潟県 | 3. 青森県 | 4. 愛媛県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問5 明治時代に官営の製鉄所が設立されたことで重化学工業が発展した、福岡県北部の地域に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。 | 2. 豊かな水資源と広大な土地を活かして、自動車の生産額が全国1位となるなど、日本最大の工業地帯の中核を担っている。 | 3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、夏から秋にかけて出荷されるレタスやキャベツなどの高原野菜の生産が盛んである。 | 4. 水はけの良い扇状地が広がる地形を活かして、りんごの栽培が盛んに行われており、全国でも有数の生産量を誇っている。 |
|--|--|---|--|
- 問6 福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。 | 2. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。 | 3. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。 | 4. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。 |
|--|--|---|---|
- 問7 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒しして出荷する栽培方法を何といいますか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 促成栽培 | 2. 抑制栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 二毛作 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問8 かつて官営八幡製鉄所を中心に鉄鋼業の拠点として発展した福岡県北部の港周辺では、大きな産業構造の変化が見られます。1970年と2015年の輸出品目を比較した資料によると、1970年には鉄鋼が輸出額の第1位でしたが、2015年には半導体等電子部品が第1位となっています。このような特徴を持ち、周辺では工場跡地の再開発によってテーマパークなども建設されている港はどこですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-----------|
| 1. 北九州港 | 2. 名古屋港 | 3. 富士港 | 4. 成田国際空港 |
|---------|---------|--------|-----------|
- 問9 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------|--------|
| 1. シラス台地 | 2. カルデラ | 3. 砂丘 | 4. 扇状地 |
|----------|---------|-------|--------|
- 問10 熊本県に位置する阿蘇山に見られる、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して形成された大きなくぼんだ地形を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|--------|
| 1. カルデラ | 2. シラス台地 | 3. 扇状地 | 4. 三角州 |
|---------|----------|--------|--------|
- 問11 沖縄県と全国の就業者数比率を比較したとき、沖縄県の産業構造に見られる顕著な特徴として正しいものはどれですか。なお、全国の製造業の割合が15.8%であるのに対し沖縄県は5.0%、医療・福祉の割合は全国の12.5%に対し沖縄県は15.7%という統計結果に基づきます。 (2022年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 1. 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い | 2. 第2次産業の割合が全国平均を大きく上回り、工業化が進んでいる | 3. 第1次産業から第3次産業まで、すべての就業者比率が全国平均と一致している | 4. 医療・福祉の就業者数が極端に少なく、製造業が県内最大の雇用を生んでいる |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|
- 問12 福岡県の産業と言えば、かつては北九州工業地帯の重化学工業が中心でしたが、近年では県庁所在地である福岡市などの都市部を中心に、どのような産業の集積が進んでいますか。適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------|
| 1. 情報通信やソフトウェア設計 | 2. ビニールハウスを用いた促成栽培による園芸農業 | 3. 火山灰が堆積した土地を利用した大規模な酪農 | 4. 冷涼な気候を活かした食料品製造業 |
|------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。	シラス台地を構成する火砕流堆積物は粒が粗く、隙間が多いため、雨が降ってもすぐに地下へ浸透してしまう「水はけが良すぎる」という性質があります。そのため、常に水を張る必要がある水田には不向きであり、乾燥に強いサツマイモや、広大な土地を利用した豚・鶏・牛などの畜産業が発展しました。
問2	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問3	答え 1 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。
問4	答え 1 鹿児島県	鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分以上を畜産が占めるという際立った特色を持っています。
問5	答え 1 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。	北九州工業地帯は、1901年に官営八幡製鉄所が操業を開始したことで、石炭や鉄鉱石の入手しやすさを背景に発展しました。かつては深刻な公害問題を経験しましたが、その克服過程で培った環境技術や、長年の工業集積で得たノウハウを再利用し、現在は「エコタウン」として、家電や自動車などのリサイクル産業が活発に行われているのが大きな特徴です。
問6	答え 1 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。	福岡県を含む九州地方は、かつての重厚長大産業（鉄鋼など）から、1970年代以降の「シリコンアイランド」としてのIC（集積回路）生産や、その後の自動車工場の相次ぐ進出により「カーアイランド」と呼ばれるまでにになりました。この流れを受けて、福岡県の工業構造も、1970年当時の基礎素材中心の構成から、2010年には加工組立型工業の割合が拡大する形へと変化を遂げています。
問7	答え 1 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問8	答え 1 北九州港	福岡県北部に位置するこの地域は、明治時代の官営八幡製鉄所の操業開始以来、北九州工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。しかし、時代の変化とともに産業の主役が鉄鋼業から半導体や医療機器などの高付加価値製品へと移り変わっており、これを産業構造の変化と呼びます。広大な工場跡地はスペースワールド（現在は閉園し、新たな施設へ移行）などのテーマパークや商業施設に活用される再開発が行われてきました。
問9	答え 1 シラス台地	九州南部に広がるこの台地は、過去の巨大噴火による火砕流の堆積物（シラス）や火山灰によって形成されました。水はけが非常に良く、水持ちが悪いため、古くから稲作には不向きとされ、サツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産業が発展する要因となりました。鹿児島県の地形的な特徴を語る上で欠かせない要素です。
問10	答え 1 カルデラ	阿蘇山は世界最大級の陥没地形を持つことで知られています。大規模な噴火が起こると、地下にあったマグマが地上に大量に放出され、地下に巨大な空洞ができます。その空洞を支えきれなくなった地表が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで、特徴的な鍋型の地形が作られました。
問11	答え 1 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い	沖縄県の産業構造は、全国平均と比較して第2次産業（特に製造業）の割合が極めて低く、一方で第3次産業の割合が高いという独自の特徴があります。2021年のデータでも、製造業の就業者比率が全国の3分の1以下であるのに対し、観光や生活に関連する第3次産業が経済の大きな柱となっていることがわかります。
問12	答え 1 情報通信やソフトウェア設計	福岡県は九州地方の経済の拠点であり、人口約154万人を擁する県庁所在地の福岡市などを中心に、高度な技術や知識を必要とするソフトウェア設計や情報通信関連の企業が数多く進出しています。これは、都市部に優秀な人材が集まりやすく、オフィスや通信環境が整っているためです。なお、促成栽培は宮崎県、大規模な酪農は北海道などで盛んな産業です。

- 問1 九州地方の諸都市について述べた文として、福岡市の特徴を説明しているものはどれか、次のうちから選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 九州地方の北部に位置する県庁所在地であり、地方中枢都市として商業やサービス業が盛んである。 | 2. 九州地方の中央部に位置する県庁所在地であり、古くから城下町として栄え、現在は交通の要所となっている。 | 3. 九州地方の南部に位置する県庁所在地であり、火山灰の堆積したシラス台地が広がる地域に位置している。 | 4. 九州地方の北部に位置する工業都市であり、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史を持つ。 |
|--|---|---|--|
- 問2 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|---|
| 1. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。 | 2. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。 | 3. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。 | 4. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。 |
|-------------------------------------|--|--|---|
- 問3 宮崎平野や高知平野で行われている促成栽培には、生産者にとってどのような利点があるか。最も適切な説明を選べ。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。 | 2. 消費地である大都市に近いため、新鮮なまま輸送コストを安く抑えられる。 | 3. 夏の冷涼な気候を利用して、暑さに弱い野菜を品質良く栽培できる。 | 4. 広大な土地を利用して、大型機械を使った効率的な生産ができる。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問4 九州地方には、火山の噴火によって地表の物質が噴出したり、噴火後に地下のマグマが減少して中心部が陥没したりすることで形成された、広大な円形のくぼ地が見られます。このような地形を何と呼びますか。 (2023年 和歌山公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| 1. カルデラ | 2. 盆地 | 3. 断層 | 4. 三角州 |
|---------|-------|-------|--------|
- 問5 1月の気温が15度を超え、梅雨や台風の影響を受ける7月・8月に降水量のピークがある気候統計を示し、年間の降水量が2100mmを超える沖縄県の都市について、その都市名と行政上の役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 那覇市 — 沖縄県の県庁所在地 | 2. 沖縄市 — 沖縄県の県庁所在地 | 3. 那覇市 — 九州地方全域を統括する政令指定都市 | 4. 名護市 — 沖縄本島南部を管轄する行政の中心地 |
|--------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問6 九州地方北西部の長崎県などに典型的に見られる、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んで連なる海岸地形を何というか、名称を答えなさい。 (2023年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|-------|---------|
| 1. リアス海岸 | 2. 干拓地 | 3. 砂州 | 4. カルデラ |
|----------|--------|-------|---------|
- 問7 地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 和歌山公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点 | 2. ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点 | 3. 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点 | 4. 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点 |
|--|---|---|--|
- 問8 九州地方の自然環境と火山に関係する地形の説明として、成り立ちや特徴が正しいものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。 | 2. 火山灰が厚く積み重なってできたシラス台地は、保水力が非常に高いため、古くから稲作が盛んな地域として利用されてきた。 | 3. カルデラとは、火山から流れ出た溶岩が川をせき止めて作った平坦な土地のことであり、熊本県の中央部に広く分布している。 | 4. 阿蘇山周辺に見られる広大なくぼ地は、河川の浸食作用によって数万年かけて削られたもので、九州地方最大の盆地である。 |
|--|--|--|---|
- 問9 鹿児島県において、豚の飼育頭数が全国第一位となるなど、畜産業が地域を代表する産業へと発展した背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものはどれか。 (2019年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山灰層が厚く堆積したシラス台地は、水はけが良すぎて稲作に不向きであったため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広い土地を必要とする家畜の飼育が選ばれた。 | 2. 水はけの悪い低湿地が広がっているため、土地改良を繰り返すことで牧草の生育を促し、乳牛を育てる酪農を中心とした産業構造へと変化した。 | 3. 険しい山地が多く平地が限られているため、山の斜面を切り開いた段々畑を作り、そこで得られた飼料を用いて小規模な畜産業が行われるようになった。 | 4. 海岸沿いに広がる砂丘地帯を大規模に開発し、塩害に強い特性を持つ家畜を専門的に育てるための施設が集中した。 |
|--|--|--|---|
- 問10 沖縄県の人口動態を示した統計において、出生率が11.6、死亡率が8.1となっており、出生率が死亡率を大きく上回るデータが示されています。このような数値の背景にある、沖縄県の人口増加の主な要因を説明したものととして適切なものはどれですか。 (2018年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 1. 出生率が全国的に見ても高く、死亡数を上回る自然的増加が続いているため | 2. 他県から移住してくる高齢者が多いため、死亡率が全国で最も低くなっているため | 3. 観光産業の発展により、県外からの労働者が転入し続ける社会的増加が主な要因であるため | 4. 若年層の他県への流出が止まり、合計特殊出生率が急激に低下したため |
|---------------------------------------|--|--|-------------------------------------|
- 問11 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。 | 2. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。 | 3. 標高が高く冷涼な気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。 | 4. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。 |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問12 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 熊本県 | 2. 鹿児島県 | 3. 長崎県 | 4. 宮崎県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問13 日本の各都道府県の統計において、長崎県は「面積が全国37位であるのに対し、海岸線の長さが全国2位である」という極めて特徴的な数値を示しています。この事実から推察される長崎県の地理的状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 壱岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。 | 2. 筑後川の下流に広がるような広大な平野をもち、海岸線には砂浜が単調に続いている。 | 3. 山地が海岸近くまで迫っているが、海岸線自体は隆起によって直線的な形状を保っている。 | 4. 県全体が一つの大きな半島であり、海岸線のほとんどが岩場のない滑らかな曲線である。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 九州地方の北部に位置する県庁所在地であり、地方中枢都市として商業やサービス業が盛んである。	福岡市は九州地方で最も人口が多い県の県庁所在地であり、九州の経済・文化・行政の拠点となっています。第3次産業（商業やサービス業）の比率が非常に高いのが特徴です。他の選択肢は、順に熊本市、鹿児島市、北九州市の特徴を説明したものです。
問2	答え 1 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問3	答え 1 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。	促成栽培は、冬でも暖かい気候やビニールハウスを利用して野菜を早く育て、他の産地からの出荷が少ない冬から春にかけて出荷することで、高値での販売を狙っています。「輸送コスト」は近郊農業、「冷涼な気候」は抑制栽培、「大型機械」は北海道などの農業の特徴です。
問4	答え 1 カルデラ	九州地方の阿蘇山などに代表される地形で、ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉に由来しています。大規模な噴火によって地表が陥没することで形成され、その内部に平坦な土地が広がるのが特徴です。周囲を山に囲まれた「盆地」と形状は似ていますが、火山の活動が直接的な原因となって形成される点で区別されます。
問5	答え 1 那覇市 ― 沖縄県の県庁所在地	那覇市は沖縄県の県庁所在地であり、政治・経済・文化の中心地です。気候面では、夏から秋にかけて発生する台風の影響を強く受けるため、7月や8月の降水量が非常に多くなる傾向があります。沖縄市は県内で2番目に人口が多い都市ですが、県庁所在地ではありません。
問6	答え 1 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで形成される、のこぎりの歯のような複雑な海岸線を指します。長崎県の北松浦半島周辺や長崎半島周辺で顕著に見られ、水深が深く波が静かなため、養殖業や天然の良港として利用されることが多いのが特徴です。選択肢にある「干拓地」は有明海などの遠浅の海を陸地化したものを指し、「砂州」は波の作用で砂が堆積した地形を指します。
問7	答え 1 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点	太陽光発電は晴天時や日中に限られ、風力発電は風の強さに左右されますが、地熱発電は地下の熱を利用するため、自然条件の変化を受けにくいという特徴があります。このため、年間を通じて安定した電力を供給できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問8	答え 1 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。	カルデラは火山活動に伴う陥没によって形成される地形です。阿蘇山の広大な中央低地や、鹿児島湾（錦江湾）の奥にある始良カルデラなどがその代表例です。選択肢にあるシラス台地は火山灰由来ですが、水はけが良すぎて稲作には不向きであり、畑作や畜産が中心となっています。また、カルデラは河川の浸食ではなく火山の陥没によって形成されるため、一般的な盆地とは成因が区別されます。
問9	答え 1 火山灰層が厚く堆積したシラス台地は、水はけが良すぎて稲作に不向きであったため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広い土地を必要とする家畜の飼育が選ばれた。	鹿児島県の大部分を占めるシラス台地は、多孔質の火山灰から成るため、水分が地下に浸透しやすく、水田に必要な水を蓄えることが困難でした。この自然環境に適応するため、伝統的にサツマイモ（飼料用を含む）の栽培が行われ、それを餌とする豚などの畜産業が大規模に展開されるようになりました。現在、鹿児島県は豚、肉用牛とともに全国有数の生産地となっています。
問10	答え 1 出生率が全国的に見ても高く、死亡数を上回る自然的増加が続いているため	沖縄県は伝統的に出生率が高い傾向にあり、日本の多くの自治体で出生数が死亡数を下回る「自然的減少」が深刻化する中で、出生数が死亡数を上回る「自然的増加」を維持している稀な例です。問題文の統計値からも、死亡率に対して出生率が高いことが人口を押し上げる要因になっていることが読み取れます。沖縄県の人口問題を考える際は、長寿といったイメージに惑わされず、この「高い出生率による自然的増加」を正しく把握する必要があります。
問11	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問12	答え 1 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問13	答え 1 壱岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。	面積が小さいにもかかわらず海岸線が長いということは、幾何学的に「形が複雑である（凸凹が多い）」、あるいは「孤立した陸地（島）が多数存在する」ことを意味します。長崎県はこの両方の条件を満たしており、特に島嶼（とうしょ）部の多さは海岸線距離を押し上げる最大の要因となっています。一方で、平地は少なく、海岸付近まで山地が迫る複雑な地形が形成されています。

- 問1 九州地方北西部の長崎県などに典型的に見られる、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んで連なる海岸地形を何というか、名称を答えなさい。 (2023年 佐賀公立入試 類似)
1. リアス海岸 2. 干拓地 3. 砂州 4. カルデラ
- 問2 日本の各都道府県の統計において、長崎県は「面積が全国37位であるのに対し、海岸線の長さが全国2位である」という極めて特徴的な数値を示しています。この事実から推察される長崎県の地理的状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 壱岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。 2. 筑後川の下流に広がるような広大な平野をもち、海岸線には砂浜が単調に続いている。 3. 山地が海岸近くまで迫っているが、海岸線自体は隆起によって直線的な形状を保っている。 4. 県全体が一つの大きな半島であり、海岸線のほとんどが岩場のない滑らかな曲線である。
- 問3 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 栃木公立入試 類似)
1. 日本国内の消費地が近いため、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから 2. 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから 3. 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから 4. 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熟果実を一時的に保管するのに適しているから
- 問4 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。 2. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができているため、九州地方の全県が収穫量で全国トップ10に入っている。 3. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。 4. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。
- 問5 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。 (2022年 沖縄公立入試 類似)
1. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。 2. サング礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。 3. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。 4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。
- 問6 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。 2. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。 3. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。 4. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。
- 問7 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。 2. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。 3. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。 4. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。
- 問8 ある地域に関する統計資料において、人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示し、製造品出荷額が他の地域と比較して低い一方で、海面漁業や畜産業の産出額が一定の規模を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 山形公立入試 類似)
1. 沖縄県 2. 北海道 3. 東京都 4. 鹿児島県
- 問9 九州地方の火山に関連する地理的事象とその影響について、背景や理由を含めた記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。 2. 活火山周辺では噴火による降灰被害を防ぐため、広大なカルデラ内は居住や農業が厳しく制限され、主に無人の発電施設のみが設置されている。 3. シラス台地は養分を豊富に含んだ火山灰で構成されているため、肥料を与えずとも高い収穫量が得られることから、九州最大の野菜供給地となっている。 4. 火山地帯は地盤が非常に強固であるため、大規模な工業団地や製鉄所の建設に適しており、北九州工業地帯の発展を支える要因となった。
- 問10 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)
1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。 2. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。 3. 標高が高く冷涼な気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。 4. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。
- 問11 九州地方の熊本県に位置し、火山の噴火によって形成された世界最大級の凹地（盆地状の地形）である「カルデラ」を持つことで知られる活火山を選びなさい。 (2016年 三重公立入試 類似)
1. 阿蘇山 2. 雲仙岳 3. 桜島 4. 霧島山
- 問12 熊本県の農業産出額の内訳を分析したとき、野菜と畜産の産出額がいずれも1,100億円を超えている状況から読み取れる、この地域の農業の強みとしてふさわしい説明を選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。 2. 米の産出額が他の品目を圧倒しており、単作地帯としての特色が強い。 3. 野菜の産出額は高いものの、畜産や果実の生産は減少傾向にあり、特定の品目への依存が進んでいる。 4. 農産物の輸出に特化しているため、国内向けの野菜や畜産の生産額は極めて低い。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで形成される、のこぎりの歯のような複雑な海岸線指します。長崎県の北松浦半島周辺や長崎半島周辺で顕著に見られ、水深が深く波が静かなため、養殖業や天然の良港として利用されることが多いのが特徴です。選択肢にある「干拓地」は有明海などの遠浅の海を陸地化したものを指し、「砂州」は波の作用で砂が堆積した地形を指します。
問2	答え 1 沓岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。	面積が小さいにもかかわらず海岸線が長いということは、幾何学的に「形が複雑である（凸凹が多い）」、あるいは「孤立した陸地（島）が多数存在する」ことを意味します。長崎県はこの両方の条件を満たしており、特に島嶼（とうしょ）部の多さは海岸線距離を押し上げる最大の要因となっています。一方で、平地は少なく、海岸付近まで山地が迫る複雑な地形が形成されています。
問3	答え 2 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問4	答え 1 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。	日本の食料自給率は品目によって大きな差があります。主食である米は国内でほぼ自給できていますが、小麦は海外からの輸入に頼る割合が高く、自給率は10%から20%程度の低い水準にとどまっています。しかし、国内での生産も継続されており、広大な農地を持つ北海道が最大の産地であるほか、九州地方の福岡県、佐賀県、熊本県などは全国的に見ても非常に高い収穫量を誇る重要な産地としての役割を担っています。
問5	答え 1 マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の河口付近など、海水と淡水が混ざり合う「汽水域」の湿地に発達する植物群の総称です。日本では沖縄県や鹿児島県の奄美大島などに自生しており、塩分に耐える特別な仕組みを持っています。多様な生物の生息地となっていることから、その豊かな自然環境はエコツーリズムなどの観光資源としても活用されています。
問6	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問7	答え 1 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。	鹿児島県では、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上を目的として、路面電車の軌道敷を芝生で緑化する事業が行われています。また、県庁所在地である鹿児島市周辺には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広がり、そこを切り開いて大規模な住宅地が造成されてきました。2004年の九州新幹線の新八代ー鹿児島中央間の先行開業以降、交通の利便性が大きく向上しています。
問8	答え 1 沖縄県	日本の多くの都道府県で人口減少が進む中、統計資料において人口増減率がプラスを示している点は非常に大きな特徴です。この地域は全国的に見て出生率が高く、自然増による人口増加が続いてきました。産業面では、離島という地理的条件から大規模な工業地帯の形成が難しいため、製造品出荷額は他県に比べて低くなりますが、温暖な気候や広大な海域を活かした畜産業や海面漁業が重要な産業となっています。
問9	答え 1 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。	地熱発電は、火山付近の地下にあるマグマの熱で温められた水蒸気を利用して発電する仕組みであり、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーとして注目されています。阿蘇山のカルデラ内には多くの人々が住み、農業も行われているため「居住が制限されている」という説明は誤りです。また、シラス台地は養分が乏しく水持ちが悪いため、かつては農業に不向きな土地とされていました。北九州工業地帯の発展は、火山地質よりも筑豊炭田の石炭と中国大陸からの鉄鉱石輸送の利便性が主な要因です。
問10	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問11	答え 1 阿蘇山	熊本県の中央部に位置する阿蘇山は、大規模な噴火活動によって形成された「カルデラ」と呼ばれる巨大なくぼ地が特徴です。このカルデラの中には平坦な土地が広がり、多くの人々が居住して農業や観光業を営んでいる点が、他の火山にはあまり見られない大きな特徴です。
問12	答え 1 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。	熊本県は、阿蘇の外輪山周辺での畜産や、平野部での野菜栽培など、多様な地形を活かした農業が行われています。統計においても、野菜（1,247億円）と畜産（1,147億円）という、本来は異なる形態の農業が共に出色な数値を記録しており、バランスの取れた産出構造であることが、地域の農業の安定性と強みにつながっています。

- 問1 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）
1. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。
 2. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
 3. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。
 4. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。
- 問2 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）
1. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
 2. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
 3. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。
 4. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
- 問3 佐賀県は、九州地方の中でも小麦の収穫量が非常に多いことで知られています。この背景として、夏の米の収穫が終わった後の水田を有効に利用して小麦を栽培する農法を何と呼びますか。（2019年 徳島公立入試 類似）
1. 水田裏作
 2. 施設園芸農業
 3. 促成栽培
 4. 高冷地農業
- 問4 九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。（2023年 三重公立入試 類似）
1. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。
 2. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。
 3. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。
 4. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。
- 問5 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）
1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
 2. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
 3. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
 4. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
- 問6 屋久島などの世界自然遺産登録地で見られる、地域の自然環境や生態系の保全を図りながら、その価値を観光客が体験し学ぶことで、地域の持続可能な発展を目指す観光の形態を何といいますか。（2025年 和歌山公立入試 類似）
1. エコツーリズム
 2. グリーンツーリズム
 3. マスツーリズム
 4. バリアフリー観光
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 九州地方南部の鹿児島県を中心に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く降り積もって形成された台地を何と呼びますか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. シラス台地
 2. カルデラ
 3. フォッサマグナ
 4. 泥炭地
- 問9 鹿児島県では、海外から輸入される安価な豚肉に対抗するため、どのような農業戦略を強化してきましたか。その背景と内容の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）
1. 経営規模を拡大するとともに、「かごしま黒豚」などのブランド化を行い、品質の高さで差別化を図る戦略。
 2. 飼育戸数を大幅に増やすことで国内市場を独占し、輸入豚肉と同等の低価格を実現する戦略。
 3. 豚肉の生産を縮小し、より単価の高い肉用牛の飼育へ全面的に転換することで収益を確保する戦略。
 4. 飼育にかかるコストを削減するため、品種改良を中止し、安価な外国産品種の導入を進める戦略。
- 問10 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県（約40%）に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。（2017年 岐阜公立入試 類似）
1. 鹿児島県
 2. 宮崎県
 3. 福岡県
 4. 三重県
- 問11 1901年に操業を開始した官営八幡製鉄所は、日清戦争の賠償金をもとに建設されました。この製鉄所が置かれ、のちに鉄鋼業を中心とした北九州工業地帯として発展した都道府県はどこですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）
1. 福岡県
 2. 兵庫県
 3. 岡山県
 4. 広島県
- 問12 沖縄県の離島などで、農業用水を確保するために「地下ダム」という独自の施設が整備されている理由について、地形や地質の観点から説明したものとして最も適切な記述はどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）
1. 地表に水を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。
 2. 年間降水量が極端に少なく、雨水を確保するために大規模な河川を建設する必要があるため。
 3. 標高の高い山地が多く、地表にダムを建設すると土砂崩れの危険性が非常に高まるため。
 4. 土壌が稲作に非常に適しているが、地表の気温が高すぎて水がすぐに蒸発し、水田が干上がってしまうため。
- 問13 日本の国土を大きく分ける七大方区分において、宮崎県は福岡県や鹿児島県などとともに、ある一つの広域的なまとまりの中に分類されています。この宮崎県が属する地方区分名を答えなさい。（2025年 愛知公立入試 類似）
1. 九州地方
 2. 中国・四国地方
 3. 近畿地方
 4. 中部地方

答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。
問2	答え 1 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問3	答え 1 水田裏作	佐賀平野を中心とする地域では、温暖な気候と水利を活かして、一年の間に同じ耕地で二種類の異なる作物を栽培する二毛作が行われています。米の収穫後、冬から春の期間に小麦などを栽培することを「水田裏作」と呼び、これが佐賀県において高い小麦の収穫量を支える要因となっています。
問4	答え 1 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。	九州地方南部では、シラス台地などの地形的条件を活かした畑作や畜産が発展しており、特に宮崎県は肉用牛、豚、鶏などの畜産業が農業産出額の多くを占めているのが特徴です。一方、九州地方北部の福岡県は、北九州工業地帯やその周辺の自動車産業などの集積により、九州で最も大きな工業出荷額を記録しています。佐賀県は九州の中では比較的、農業産出額に占める米の割合が高いという特徴がありますが、工業出荷額が最大なのは福岡県です。
問5	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問6	答え 1 エコツーリズム	自然環境を壊して観光開発を進めるのではなく、地域の生態系を保護しながら、その魅力を観光資源として活用する仕組みを指します。観光客に自然の大切さを学んでもらうことで、環境保護と地域振興の両立を図るのが特徴です。
問7	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問8	答え 1 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるこの地形は、桜島などの火山から噴出した火山灰や軽石などが大量に堆積してできたものです。粒子が細かく、水はけが非常に良いという地質的な特徴を持っています。そのため、大規模な稲作を行うには水持ちが悪いという土地条件がありますが、その特性を活かした農業が発展してきました。
問9	答え 1 経営規模を拡大するとともに、「かごしま黒豚」などのブランド化を行い、品質の高さで差別化を図る戦略。	日本の畜産業は、貿易の自由化によって流入する安価な輸入肉との厳しい競争にさらされてきました。鹿児島県ではこれに対抗するため、1戸あたりの経営規模を拡大して生産効率を高めるだけでなく、独自の品種改良を重ねた「かごしま黒豚」などのブランド化を推進しました。単なる価格競争ではなく、付加価値の高い高品質な肉を生産することで、独自の市場的地位を築いています。
問10	答え 1 鹿児島県	2015年の統計において、鹿児島県は全国の茶生産量の約28.6%を占める一大産地となっています。九州地方は茶の栽培が盛んですが、その中でも鹿児島県は広大な平坦地（シラス台地など）を活用した大規模な機械化栽培が行われており、静岡県に次ぐ全国第2位の生産量を維持しています。
問11	答え 1 福岡県	日清戦争で得た賠償金をもとに、筑豊炭田の石炭と中国大陸から輸入する鉄鉱石の利用に便利な福岡県北部に官営八幡製鉄所が建設されました。これが日本の重工業化をけん引し、北九州工業地帯へと発展しました。
問12	答え 1 地表に水を通しやすい琉球石灰岩の層が広がっており、降った雨がすぐに地中にしみ込んでしまうため。	沖縄県の多くの地域や離島では、サンゴ礁が堆積してできた「琉球石灰岩」が地表を覆っています。この岩層は透水性が非常に高く、梅雨や台風で大量の雨が降っても地表に水が残りにくい（川が形成されにくい）という特徴があります。一方で、その下には水を通しにくい「泥岩」の層があるため、人工的な「止水壁」を作って地下水として貯める手法が、農業用水を確保する最も効率的な手段となりました。
問13	答え 1 九州地方	日本の七大地方区分（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）において、宮崎県は九州地方に分類されます。九州地方は九州本島の7県（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）と沖縄県から構成されています。地理的な位置や行政・経済的な結びつきに基づき、このように区分されています。

- 問1 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため
 2. 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため
 3. 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため
 4. 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため
- 問2 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の火山の巨大噴火による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なってできた広大な台地を何と呼びますか。（2023年 沖縄公立入試 類似）
1. シラス台地
 2. カルデラ
 3. 扇状地
 4. 干拓地
- 問3 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壌の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）
1. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。
 2. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。
 3. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。
 4. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。
- 問4 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 筑紫平野
 2. 熊本平野
 3. 宮崎平野
 4. 十勝平野
- 問5 九州南部の鹿児島県などに広がる火山灰層からなる台地において、古くから水田稲作があまり行われず、サツマイモや飼料用トウモロコシなどの畑作、および畜産業が発展した理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明を選びなさい。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。
 2. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を妨げる性質を持っているため。
 3. 土壌が非常に硬い岩盤状になっており、農作物の根が深く張ることができないため。
 4. 火山灰に含まれる栄養分が多すぎるため、稲が成長しすぎて倒伏してしまうため。
- 問6 佐賀平野などの農業で見られる、同じ耕地を利用して4月から6月にかけては麦を栽培し、その収穫が終わった後の夏から秋にかけて米を栽培するという、1年間に2種類の異なる農作物を育てる方法を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 二毛作
 2. 二期作
 3. 単作
 4. 促成栽培
- 問7 農産物の生産統計において、サトウキビの生産量や、マンゴー、菊（電照菊）の出荷量が全国トップクラスである都道府県はどこか、名称を答えなさい。（2014年 沖縄公立入試 類似）
1. 沖縄県
 2. 宮崎県
 3. 鹿児島県
 4. 高知県
- 問8 千葉県、北海道、大阪府、沖縄県の4つの地域の航空貨物輸送量を比較した統計において、国内線の輸送量に比べて国際線の輸送量の割合が非常に高く、東アジアの主要都市を結ぶ中継拠点（ハブ）としての役割を果たしている都道府県はどこか、次の中から選びなさい。（2024年 栃木公立入試 類似）
1. 北海道
 2. 千葉県
 3. 大阪府
 4. 沖縄県
- 問9 多数の半島や島々を含み、海岸線が複雑に入り組んでいる長崎県の地形的・気候的背景と、それに基づいた農業の仕組みについて説明したものとして正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。
 2. 広大な平野と火山の火山灰土を活かし、機械化された大規模な農地で小麦や大豆の生産が中心となっている。
 3. 複雑な海岸線により冬の冷え込みが厳しいため、ビニールハウスを用いた促成栽培による野菜出荷が平野部で展開されている。
 4. 火山の影響で水はけが良すぎるため、稲作はほとんど行われず、砂丘地での乾燥に強い作物の栽培が主となっている。
- 問10 日本の各県の農業産出額を比較した際、沖縄県には他県と異なる際立った特徴が見られます。その内容と背景について正しく説明しているものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 平坦な土地と豊富な水資源を活かし、稲（米）の産出額が全体の半分以上を占めている。
 2. 大消費地に近い立地を活かして、キャベツやレタスなどの近郊農業による野菜の産出額が最も多い。
 3. 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。
 4. シラス台地の特性を活かし、広大な土地で茶の生産や肉用牛の飼育が農業の中心となっている。
- 問11 九州地方の火山に関連する地理的事象とその影響について、背景や理由を含めた記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。
 2. 活火山周辺では噴火による降灰被害を防ぐため、広大なカルデラ内は居住や農業が厳しく制限され、主に無人の発電施設のみが設置されている。
 3. シラス台地は養分を豊富に含んだ火山灰で構成されているため、肥料を与えずとも高い収穫量が得られることから、九州最大の野菜供給地となっている。
 4. 火山地帯は地盤が非常に強固であるため、大規模な工業団地や製鉄所の建設に適しており、北九州工業地帯の発展を支える要因となった。
- 問12 鹿児島県に広く分布する「シラス台地」の土壌の性質として、現地の農業に最も大きな影響を与えている特徴はどれですか。（2024年 山形公立入試 類似）
1. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい
 2. 川が運んだ土砂でできており、水を通しにくい
 3. 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している
 4. サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い
- 問13 九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。（2025年 東京都公立入試 類似）
1. カルデラ
 2. シラス台地
 3. 三角州
 4. 盆地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問2	答え 1 シラス台地	鹿児島県周辺には、火山の噴出物である火山灰や軽石などが堆積してできた大規模な台地が存在します。この地形は水はけが非常に良いという特徴があり、かつては水不足に悩まされることもありましたが、現在ではその特性を活かした畑作や畜産が盛んに行われています。
問3	答え 1 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。	シラス台地は、主に過去の巨大噴火による火砕流などの火山噴出物（火山灰や軽石など）が厚く積み重なって形成されました。土壌の粒が粗いため、水が地中にしみ込みやすく「水はけが良い」という特徴を持っています。この性質は、水田稲作よりも畑作に適した環境を生み出しました。
問4	答え 1 筑紫平野	筑紫平野は、九州最大の河川である筑後川の下流に広がる平野です。クリーク（水路）が発達し、古くから稲作が盛んに行われています。選択肢の熊本平野は九州中部、宮崎平野は九州南東部に位置します。
問5	答え 1 土壌の浸透性が非常に高く、水田に必要な水を地表に保持しておくことが困難であるため。	シラス台地を構成する火山灰や軽石の層は、隙間が多くて水を通しやすい（水はけが良い）という特徴があります。この性質は、常に水を張っておく必要がある水田（稲作）には不利に働きます。そのため、水分が少なくても育つ作物や、広大な土地を利用した畜産業がこの地域の主な産業となりました。近年では、灌漑施設の整備により、一部で野菜栽培なども行われています。
問6	答え 1 二毛作	1年間のうちに同じ耕地で2種類の異なる作物を育てる方法を二毛作と呼びます。これに対し、同じ耕地で1年間に2回同じ作物（主に米）を栽培する方法は「二期作」と呼ばれます。佐賀平野では、水はけを改良する技術や気候条件を活かし、古くから米と麦の二毛作が盛んに行われてきました。
問7	答え 1 沖縄県	亜熱帯特有の温暖な気候を活かした農業が盛んであり、サトウキビのほか、冬の夜間に電灯を照らして開花時期を調整する「電照菊」や、熱帯の果実であるマンゴーなどの栽培が特徴的です。宮崎県もマンゴーの生産で知られますが、サトウキビの生産量で比較すると、南西諸島に位置するこの都道府県が際立って高い数値を示します。
問8	答え 4 沖縄県	沖縄県にある那覇空港は、東アジアの主要都市のほぼ中心に位置するという地理的な優位性を持っています。この利点を生かし、24時間運用が可能な国際的な航空貨物輸送の拠点（貨物ハブ）として整備されており、海外からの貨物を一度集めてから各地へ配送する仕組みが構築されています。そのため、他の都道府県と比較しても国際線貨物の重要性が非常に高いのが特徴です。
問9	答え 1 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。	長崎県は雲仙岳などの火山があり、多くの半島が突き出しているため、大規模な平野が少ないのが特徴です。そのため、傾斜地を有効に利用した農業が発達しました。特に温暖な気候条件は、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作（同じ土地で年に2回栽培すること）を可能にしており、地形的な不利を気候条件で補う形で特色ある農業が展開されています。
問10	答え 3 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。	沖縄県の農業産出額の構成を他の県と比較すると、野菜や畜産よりも、さとうきびなどの「工芸作物」を含む項目の割合が突出して高いという特徴があります。これは、台風の被害を受けにくく高温多湿な環境に適した作物として、さとうきびが古くから地域経済を支えてきた背景があるためです。他の選択肢にある「稲（米）」や「近郊農業」は沖縄県の特徴には当てはまらず、シラス台地は鹿児島県を中心とした南九州の地形的特徴です。
問11	答え 1 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。	地熱発電は、火山付近の地下にあるマグマの熱で温められた水蒸気を利用して発電する仕組みであり、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーとして注目されています。阿蘇山のカルデラ内には多くの人々が住み、農業も行われているため「居住が制限されている」という説明は誤りです。また、シラス台地は養分が乏しく水持ちが悪いため、かつては農業に不向きな土地とされていました。北九州工業地帯の発展は、火山地質よりも筑豊炭田の石炭と中国大陸からの鉄鉱石輸送の利便性が主な要因です。
問12	答え 1 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい	シラス台地は過去の火山活動による火砕流などの噴出物が積み重なって形成されました。この土壌は粒子が粗く「水を通しやすい（水はけが良い）」という特性を持っています。そのため、常に水を張る必要がある水田稲作には向かず、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして畜産を中心とした農業が発展してきました。
問13	答え 1 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。

問1 大分県の北部において、冬の時期に降水量（降雪）が多くなる傾向がある理由を、地形と風の観点から説明したものとして適切なものはどれか。

。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。 | 2. 日本海側から吹き込む乾燥した季節風が、県の中央部にある高い山地を越える際に、瀬戸内海からの水蒸気を吸収して雨を降らせるため。 | 3. 太平洋から吹く温暖な季節風が、南部から北上する際になだらかな山地を越え、その過程で冷却されて北部に雪をもたらすため。 | 4. 四国山地を越えてきた湿った季節風が、県の中央部にある盆地状の地形に停滞し、冬の低温によって雪へと変化するため。 |
|---|---|---|--|

問2 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2020年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。 | 2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。 | 3. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。 | 4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。 |
|--|--|---|--|

問3 九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 （2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。 | 2. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。 | 3. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。 | 4. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。 |
|---|---|---|--|

問4 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。 （2020年 静岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 化学工業 | 2. 金属工業 | 3. 食料品工業 | 4. せんい工業 |
|---------|---------|----------|----------|

問5 鹿児島県の農業の特色について、農業産出額の構成や主な生産物の背景を踏まえて述べた文として、最も適当なものはどれですか。 （2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。 | 2. 広大な平地と冷涼な気候を活かした大規模農業が盛んで、乳牛などの酪農やてんさい、じゃがいもの生産が中心である。 | 3. 首都圏に近い立地を活かした近郊農業が発達しており、レタスやピーマンなどの野菜の生産額が畜産を大きく上回っている。 | 4. 温暖な気候を利用した稲の二期作が古くから行われており、農業産出額における米の割合が最も高い。 |
|---|---|---|---|

問6 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われている。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。 （2023年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 | 2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。 | 3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 | 4. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。 |
|---|---|---|---|

問7 東京から各都市への鉄道による移動時間を地図上の距離に置き換えた変形地図において、2010年から2014年の間に、九州南部方面の距離が他の主要都市と比べて劇的に短く変化した様子が示されることがあります。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。 （2022年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと | 2. 格安航空会社（LCC）の就航が相次ぎ、空路による移動の選択肢が増えたこと | 3. リニア中央新幹線の先行区間が開業し、西日本方面への移動が高速化したこと | 4. 青函トンネルの開通により、本州と周辺の島々を結ぶ鉄道網が連結されたこと |
|--------------------------------------|---|--|--|

問8 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2016年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。 | 2. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。 | 3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。 | 4. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。 |
|---|---|--|--|

問9 日本の諸地域の自然について説明した資料において、南西諸島の特色をまとめた文として最も適切なものはどれですか。地形や植生の広がり方に着目して選びなさい。 （2022年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングローブが広がり、貴重な生態系が見られる。 | 2. 冷涼な気候を好むブナの林が、海岸付近の湿地から山地にかけて大規模な原生林を形成している。 | 3. 大規模な干拓によって作られた湿地を利用して、マングローブの植林による木材生産が盛んである。 | 4. サンゴ礁が隆起してできた平坦な土地では、泥の多い湿地を利用した稲作が島の主要産業となっている。 |
|---|---|--|--|

問10 高度経済成長期の日本において、北九州市などの工業地帯を中心に発生した、工業化に伴う環境破壊を総称して何と呼びますか。また、その主な内容を説明したものとして適切なものはどれですか。 （2017年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。 | 2. 地球温暖化：化石燃料の使用によって二酸化炭素が増加し、地球全体の気温が上昇すること。 | 3. 自然災害：台風や地震などの自然現象によって、建物や人命に直接的な被害が出ること。 | 4. ヒートアイランド現象：都市部の建物やアスファルトの影響で、周辺部より気温が高くなること。 |
|---|---|---|---|

問11 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 （2020年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。 | 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。 | 3. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。 | 4. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。	冬の季節風は、日本海や関門海峡付近を通過する際に湿り気を帯びます。大分県の中央部には東西になだらかな山地が存在するため、この北寄りの季節風が山地の北側に吹き付けることで上昇気流が起こり、雪や雨を降らせる原因となります。この仕組みは日本海側の気候メカニズムと似ていますが、大分県特有の東西にのびる山地の配置が大きな役割を果たしています。
問2	答え 1 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。	鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。
問3	答え 1 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。	九州北部に位置する福岡市は、梅雨の時期に降水量がまとまる日本海側の気候の特色を持っています。これに対し、九州南部の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮（日本海流）の影響や、夏から秋にかけて吹き込む湿った南東の季節風、さらには台風の進路になりやすいといった地理的要因が重なり、夏から秋にかけて全国的にも非常に多い降水量を記録します。
問4	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問5	答え 1 シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。	鹿児島県は全国屈指の農業県ですが、その最大の特徴は畜産の圧倒的な比率にあります。約4109億円にのぼる産出額のうち60.9%を畜産が占めており、これはシラス台地という地形的条件を克服するために畜産や畑作に力を入れてきた歴史的背景に基づいています。他の選択肢にある酪農中心の形態は北海道、近郊農業は茨城県や千葉県、稲の二期作はかつての高知県などの特徴です。
問6	答え 1 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。
問7	答え 1 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと	交通網の整備、特に新幹線の開業は「時間距離」を大幅に縮小させます。2011年の九州新幹線の全線開業は、それまで乗り換えが必要だった九州南部と本州を直結させ、地図上で表現した際の「東京からの時間的距離」を劇的に短縮させる要因となりました。他の選択肢にあるLCは航空路、リニアは将来計画や別区間、青函トンネルは北海道方面に関する記述であるため、九州の変化の説明としては不適切です。
問8	答え 1 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問9	答え 1 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングローブが広がり、貴重な生態系が見られる。	南西諸島は日本の中でも亜熱帯に属し、温暖で雨が多い気候が特徴です。このような環境下の海岸線や河口付近には、塩分に強いマングローブが自生し、独自の景観を作り出しています。選択肢にあるブナは冷温帯の落葉広葉樹であり、南西諸島の低地には見られません。また、マングローブが育つ場所は泥の堆積する湿地ですが、サンゴ礁は泥の少ない清浄な海域で発達するため、それぞれの分布環境は異なります。
問10	答え 1 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。	急速な工業化が進んだ時期、適切な対策が取られないまま工場から有害物質が排出されたことで、健康被害や生活環境の悪化を招く「公害」が全国で発生しました。特に北九州市では、石炭や鉄鋼などの重工業が盛んだったため、排煙による大気汚染や、工場排水による水質汚濁が深刻な社会問題となりました。これらは人間の経済活動によって引き起こされたものであり、自然現象による災害や、地球規模の環境変化とは区別されます。
問11	答え 1 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。	九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。

- 問1 九州地方南部に位置するある県では、県土の約73%を山地が占めるという地形的特徴があります。この県において、飼育頭数が約80万頭に達し、全国でもトップクラスの規模を誇っている家畜は何ですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|--------|------|------|
| 1. 豚 | 2. 乳用牛 | 3. 馬 | 4. 羊 |
|------|--------|------|------|
- 問2 明治時代、日本の近代化を進めるために九州北部に官営の八幡製鉄所が建設されました。この場所に建設された理由として、当時の資源供給の面から説明した文として最も適切なものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 筑豊炭田などで産出される石炭を燃料として利用しやすく、大陸からの鉄鉱石の輸入にも適していたため。 | 2. 近隣で良質なボーキサイトが大量に採掘されており、アルミニウム製造の電力を確保しやすいかったため。 | 3. 周辺地域に豊富な天然ガスが埋蔵されており、それを活用した新しいエネルギー供給網が整っていたため。 | 4. 四万十川などの急流を利用した水力発電によって、鉄鋼生産に必要な大量の電力を安価に得られたため。 |
|---|---|---|--|
- 問3 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため | 2. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため | 3. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため | 4. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問4 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため | 2. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため | 3. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため | 4. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保するためがあるため |
|---|--|---|---|
- 問5 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。 | 2. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。 | 3. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。 | 4. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。 |
|---|---|---|---|
- 問6 日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 静岡県 | 3. 三重県 | 4. 千葉県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問7 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため | 2. 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため | 3. 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため | 4. 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため |
|--|---|--|---|
- 問8 鹿児島県の農業についてまとめた資料の中で、広大な台地を利用して茶の栽培や畑作、畜産が盛んに行われている背景として説明される、この土地の成り立ちはどのようなものですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した | 2. 河川が長年かけて山から土砂を運び、平坦な土地を形成した | 3. 地殻変動によって海底が押し上げられ、平らな台地となった | 4. 森林を大規模に伐採し、人工的に土を盛り土して造成した |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
- 問9 九州南部の広範囲に見られる「シラス台地」の土壌の成り立ちと性質について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。 | 2. 河川が運んできた土砂が堆積してできており、水分を蓄える力が強い。 | 3. 大昔の貝殻やサンゴが積み重なってできており、アルカリ性が強い。 | 4. 植物の遺骸が分解されずに堆積した泥炭地であり、湿気が多い。 |
|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問10 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 化学工業 | 2. 金属工業 | 3. 食料品工業 | 4. せんい工業 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問11 宮崎県において、農業産出額に占める畜産の割合が他の都道府県と比較して際立って高い理由として、自然環境や土地利用の背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。 | 2. 年間を通して降水量が極めて少なく乾燥しているため、農作物の栽培よりも家畜の管理に適している。 | 3. 冬の寒さが厳しく、ビニールハウスを利用した施設園芸農業よりも、室内で行う畜産業の方が効率が良いため。 | 4. 大消費地である東京圏に隣接しており、鮮度が重要な生乳や精肉を短時間で出荷できる有利な立地条件にあるため。 |
|---|---|---|---|
- 問12 九州地方南部の鹿児島県を中心に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く降り積もって形成された台地を何と呼びますか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|--------|
| 1. シラス台地 | 2. カルデラ | 3. フォッサマグナ | 4. 泥炭地 |
|----------|---------|------------|--------|
- 問13 鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。 | 2. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。 | 3. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。 | 4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。 |
|------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 豚	宮崎県は九州地方南部において、鹿児島県などとともに日本屈指の畜産地帯を形成しています。特に豚の飼育頭数は全国的に見ても非常に多く、広大な山地が多い地形的制約がある中で、生産性の高い畜産業が県の経済を支える重要な産業となっています。
問2	答え 1 筑豊炭田などで産出される石炭を燃料として利用しやすく、大陸からの鉄鉱石の輸入にも適していたため。	八幡製鉄所が現在の北九州市に建設された主な理由は、燃料となる石炭を近くの筑豊炭田などから容易に確保できたことです。また、鉄鋼の原料となる鉄鉱石を中国大陆から輸入する際にも、地理的に近い九州北部は非常に有利な条件を備えていました。これにより、九州北部は日本の重工業を牽引する北九州工業地帯へと発展していくことになりました。
問3	答え 1 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため	シラスは火山の噴出物からなる粒子の粗い土壌であり、水分を保持しにくい「水はけが良すぎる」という性質を持っています。常に一定の水を張っておく必要がある水田（稲作）には不向きであったため、代わりに乾燥に強いサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した肉用牛や豚などの畜産が発展しました。
問4	答え 1 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問5	答え 1 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起こりました。
問6	答え 1 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問7	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問8	答え 1 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した	九州南部に広がるシラス台地は、約3万年前の始良カルデラなどの巨大噴火によって噴出した火山灰や火砕流が厚く積み重なってできた地形です。このように火山噴出物が起源であるため、稲作に必要な栄養分や保水力に乏しいという特徴がありますが、現在はスプリンクラーなどの灌漑施設の整備が進み、大規模な畑作地帯となっています。
問9	答え 1 火山の噴出物が積み重なって形成されており、水はけが非常に良い。	シラス台地は、主に過去の巨大噴火による火砕流などの火山噴出物（火山灰や軽石など）が厚く積み重なって形成されました。土壌の粒が粗いため、水が地中にしみ込みやすく「水はけが良い」という特徴を持っています。この性質は、水田稲作よりも畑作に適した環境を生み出しました。
問10	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問11	答え 1 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広く分布しています。この土地は水持ちが悪く、かつては大規模な水田稲作には不向きであったため、水に頼りすぎない畑作や畜産業が中心となって発展しました。現在ではこの地理的条件を背景に、肉用牛や豚、鶏などの飼育頭数で全国トップクラスを誇る有数の畜産地帯となっています。東京圏への出荷については、距離が離れているため、フェリーやトラック輸送を活用した広域流通が工夫されています。
問12	答え 1 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるこの地形は、桜島などの火山から噴出した火山灰や軽石などが大量に堆積してできたものです。粒子が細かく、水はけが非常に良いという地質的な特徴を持っています。そのため、大規模な稲作を行うには水持ちが悪いという土地条件がありますが、その特性を活かした農業が発展してきました。
問13	答え 1 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。	シラスは火山から噴出した粒子の集まりであり、粒と粒の間に隙間が多いため、水を通しやすいという性質を持っています。そのため、水田に必要な水を溜めておくことが難しく、乾燥に強い作物を中心とした畑作が発達しました。

- 問1 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。 | 2. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。 | 3. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。 | 4. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。 |
|---|--|--|---|
- 問2 日本の畜産業において「宮崎牛」に代表されるような取り組みが行われている理由を、市場の状況から説明したものととして正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--------------------------------------|
| 1. 安価な外国産の肉の輸入増加に対し、品質の向上による差別化で対抗するため。 | 2. 国内の肉の消費量が急激に減少したため、生産量を減らして希少価値を高めるため。 | 3. 外国産の肉よりも価格を安く設定し、低所得者層向けの市場を開拓するため。 | 4. すべての国内産の肉を同じ名称で統一し、消費者が選びやすくするため。 |
|---|---|--|--------------------------------------|
- 問3 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県（約40%）に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2017年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 宮崎県 | 3. 福岡県 | 4. 三重県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問4 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。 | 2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。 | 3. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。 | 4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。 |
|--|--|---|--|
- 問5 九州地方の製造業出荷額において、1980年には鉄鋼や化学が上位を占めていましたが、2000年には電気機械が首位となり、輸送用機械も上位に食い込むようになりました。このように、高度な技術を用いて部品を組み立てることで製品を生産する産業を何と呼びますか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|--------------|
| 1. 加工組立型産業 | 2. 基礎素材型産業 | 3. 生活関連型産業 | 4. 知識集約型公共産業 |
|------------|------------|------------|--------------|
- 問6 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 新潟県 | 3. 青森県 | 4. 埼玉県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 沖縄県と全国の上業者数比率を比較したとき、沖縄県の産業構造に見られる顕著な特徴として正しいものはどれですか。なお、全国の製造業の割合が15.8%であるのに対し沖縄県は5.0%、医療・福祉の割合は全国の12.5%に対し沖縄県は15.7%という統計結果に基づきます。 (2022年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 1. 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い | 2. 第2次産業の割合が全国平均を大きく上回り、工業化が進んでいる | 3. 第1次産業から第3次産業まで、すべての就業者比率が全国平均と一致している | 4. 医療・福祉の就業者数が極端に少なく、製造業が県内最大の雇用を生んでいる |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|
- 問8 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。 (2017年 京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-------|--------|
| 1. まだい | 2. ほたてがい | 3. さけ | 4. かつお |
|--------|----------|-------|--------|
- 問9 高度経済成長期の日本において、北九州市などの工業地帯を中心に発生した、工業化に伴う環境破壊を総称して何と呼びますか。また、その主な内容を説明したものととして適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。 | 2. 地球温暖化：化石燃料の使用によって二酸化炭素が増加し、地球全体の気温が上昇すること。 | 3. 自然災害：台風や地震などの自然現象によって、建物や人命に直接的な被害がでること。 | 4. ヒートアイランド現象：都市部の建物やアスファルトの影響で、周辺部より気温が高くなること。 |
|---|---|---|---|
- 問10 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 1. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。 | 2. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。 | 3. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。 | 4. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
- 問11 1月の気温が15度を超え、梅雨や台風の影響を受ける7月・8月に降水量のピークがある気候統計を示し、年間の降水量が2100mmを超える沖縄県の都市について、その都市名と行政上の役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 那覇市 — 沖縄県の県庁所在地 | 2. 沖縄市 — 沖縄県の県庁所在地 | 3. 那覇市 — 九州地方全域を統括する政令指定都市 | 4. 名護市 — 沖縄本島南部を管轄する行政の中心地 |
|--------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問12 九州地方の自然環境と火山に関係する地形の説明として、成り立ちや特徴が正しいものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。 | 2. 火山灰が厚く積み重なってできたシラス台地は、保水力が非常に高いため、古くから稲作が盛んな地域として利用されてきた。 | 3. カルデラとは、火山から流れ出た溶岩が川をせき止めて作った平坦な土地のことであり、熊本県の中央部に広く分布している。 | 4. 阿蘇山周辺に見られる広大なくぼ地は、河川の浸食作用によって数万年かけて削られたもので、九州地方最大の盆地である。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。	第3次産業の割合が8割を超えるような極めて高い数値は、観光業に特化した都市で見られる典型的な特徴です。特に温泉地のような歴史ある観光地では、産業構造がサービス業に偏る一方で、現役世代の減少により高齢化が進んでいるケースが多く見られます。製造業が中心の場合は第2次産業が、農業中心の場合は第1次産業が一定の割合を占めるため、これほど第3次産業に偏ることはありません。
問2	答え 1 安価な外国産の肉の輸入増加に対し、品質の向上による差別化で対抗するため。	安価な外国産の肉との価格競争を避けるためには、消費者に「高くても買いたい」と思わせる理由が必要です。地域名などを冠したブランド化は、消費者に安心感や高級感といった品質面での優位性をアピールする有効な手段となっており、九州地方をはじめとする日本の畜産農家の重要な生存戦略となっています。
問3	答え 1 鹿児島県	2015年の統計において、鹿児島県は全国の茶生産量の約28.6%を占める一大産地となっています。九州地方は茶の栽培が盛んですが、その中でも鹿児島県は広大な平坦地（シラス台地など）を活用した大規模な機械化栽培が行われており、静岡県に次ぐ全国第2位の生産量を維持しています。
問4	答え 1 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。	鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。
問5	答え 1 加工組立型産業	電気機械や自動車（輸送用機械）のように、多くの部品を組み合わせで最終製品を作る産業を加工組立型産業と呼びます。九州では、高速道路網の整備や豊富な水資源、労働力を背景にこれらの工場が増加しました。一方、原材料を加工して他の産業の土台となる素材を作る鉄鋼や化学などの産業は基礎素材型産業と呼ばれ、以前に比べて出荷額に占める割合は低下しています。
問6	答え 1 宮崎県	九州地方南部に位置する宮崎県は、シラス台地などの火山灰層が広がる地形的制約もあり、古くから広大な土地を活かした畜産業が発展してきました。全国でも有数の農業産出額を誇り、特に肉用牛や豚、ブロイラー（鶏）の生産で全国トップクラスのシェアを占めています。他の選択肢について、新潟県は米、青森県は果実（りんご）、埼玉県は近郊農業による野菜の産出額割合が高いのが特徴です。
問7	答え 1 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い	沖縄県の産業構造は、全国平均と比較して第2次産業（特に製造業）の割合が極めて低く、一方で第3次産業の割合が高いという独自の特徴があります。2021年のデータでも、製造業の就業者比率が全国の3分の1以下であるのに対し、観光や生活に関連する第3次産業が経済の大きな柱となっていることがわかります。
問8	答え 1 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせで生産することで、高い生産額を維持しています。
問9	答え 1 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。	急速な工業化が進んだ時期、適切な対策が取られないまま工場から有害物質が排出されたことで、健康被害や生活環境の悪化を招く「公害」が全国で発生しました。特に北九州市では、石炭や鉄鋼などの重工業が盛んだったため、排煙による大気汚染や、工場排水による水質汚濁が深刻な社会問題となりました。これらは人間の経済活動によって引き起こされたものであり、自然現象による災害や、地球規模の環境変化とは区別されます。
問10	答え 1 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。	自動車の組立工場や部品工場が多く立地する都市では、製造業に携わる労働者が多くなるため、第2次産業の就業者割合が他の都市に比べて高くなる傾向があります。九州では、輸送用機械などの製造業が盛んな都市がこの特徴に合致しており、商業が中心の都市に比べて第2次産業の割合が突出して高いのが特徴です。
問11	答え 1 那覇市 ― 沖縄県の県庁所在地	那覇市は沖縄県の県庁所在地であり、政治・経済・文化の中心地です。気候面では、夏から秋にかけて発生する台風の影響を強く受けるため、7月や8月の降水量が非常に多くなる傾向があります。沖縄市は県内で2番目に人口が多い都市ですが、県庁所在地ではありません。
問12	答え 1 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。	カルデラは火山活動に伴う陥没によって形成される地形です。阿蘇山の広大な中央低地や、鹿児島湾（錦江湾）の奥にある始良カルデラなどがその代表例です。選択肢にあるシラス台地は火山灰由来ですが、水はけが良すぎて稲作には不向きであり、畑作や畜産が中心となっています。また、カルデラは河川の浸食ではなく火山の陥没によって形成されるため、一般的盆地とは成因が区別されます。

- 問1 宮崎市が位置する太平洋沿岸南部の地域で、冬でも温暖な気候となり、かつ夏から秋にかけて降水量が非常に多くなる主な要因の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2023年 福井公立入試 類似)
1. 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響
 2. 寒流である親潮の影響と、北西から吹く季節風の影響
 3. 対馬海流の影響と、日本海側特有の冬の季節風の影響
 4. 内陸の盆地による影響と、一年を通じて安定した高気圧の影響
- 問2 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
 2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。
 3. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。
 4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問3 多数の半島や島々を含み、海岸線が複雑に入り組んでいる長崎県の地形的・気候的背景と、それに基づいた農業の仕組みについて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。
 2. 広大な平野と火山の火山灰土を活かし、機械化された大規模な農地で小麦や大豆の生産が中心となっている。
 3. 複雑な海岸線により冬の冷え込みが厳しいため、ビニールハウスを用いた促成栽培による野菜出荷が平野部で展開されている。
 4. 火山の影響で水はけが良すぎるため、稲作はほとんど行われず、砂丘地での乾燥に強い作物の栽培が主となっている。
- 問4 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 三重公立入試 類似)
1. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県
 2. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県
 3. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県
 4. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県
- 問5 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。
 2. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。
 3. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。
 4. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。
- 問6 鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉公立入試 類似)
1. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。
 2. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。
 3. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。
 4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。
- 問7 日本の農業に関する2021年の統計において、茨城県の農業産出額は約4263億円でそのうち野菜が35.9%を占めており、宮崎県の農業産出額は約3478億円でそのうち畜産が66.4%を占めています。これらのデータから読み取れる内容として正しいものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 宮崎県の畜産産出額は、茨城県の野菜産出額よりも多い。
 2. 茨城県の野菜産出額は、宮崎県の畜産産出額よりも多い。
 3. 茨城県は野菜の産出割合が最も高いため、産出額の合計も宮崎県より少ない。
 4. 宮崎県は農業産出額の総額において、全国で最も高い数値を示している。
- 問8 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井公立入試 類似)
1. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため
 2. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
 3. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
 4. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保するため
- 問9 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。
 2. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。
 3. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。
 4. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから
- 問10 火山活動によるエネルギーを利用した発電方式が、日本の九州地方で盛んに行われている理由と、そのエネルギーの性質について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 急峻な山地を流れる河川の落差を利用しており、雨の多い季節に発電量が最大になる性質を持つ。
 2. 広大な平野部にパネルを設置し、日照時間の長い太平洋側の気候を活かして昼間の電力を賄う性質を持つ。
 3. 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かしており、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。
 4. 沿岸部で発生する強い海風を風車で捉えており、二酸化炭素を全く排出しない性質を持つ。
- 問11 九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。 (2016年 岡山公立入試 類似)
1. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。
 2. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
 3. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。
 4. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響	宮崎市などの太平洋沿岸南部では、暖流である黒潮（日本海流）が近海を流れているため、冬の寒さが和らぎ温暖な気候がもたらされます。一方、夏から秋にかけては、太平洋高気圧からの湿った季節風や、南から北上する台風の通り道にあたるため、非常に多くの降水量が記録されます。これに対し、親潮は北日本に影響を与える寒流であり、対馬海流は日本海側の気候に大きく関わる暖流です。
問2	答え 1 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。	鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。
問3	答え 1 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。	長崎県は雲仙岳などの火山があり、多くの半島が突き出しているため、大規模な平野が少ないのが特徴です。そのため、傾斜地を有効に利用した農業が発達しました。特に温暖な気候条件は、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作（同じ土地で年に2回栽培すること）を可能にしており、地形的な不利を気候条件で補う形で特色ある農業が展開されています。
問4	答え 1 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県	宮崎県は広大な土地や気候条件を背景に、ブロイラーや豚などの飼育が盛んな「畜産王国」としての側面を持っています。対して福岡県は、北九州工業地帯の歴史的背景や、近年の自動車工場の進出などにより、九州の工業を牽引する立場にあります。選択肢に含まれる佐賀県は、平野部で米の生産が盛んですが、工業出荷額や畜産の割合で宮崎県や福岡県を上回ることはありません。
問5	答え 1 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。	鹿児島県では、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上を目的として、路面電車の軌道敷を芝生で緑化する事業が行われています。また、県庁所在地である鹿児島市周辺には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広がり、そこを切り開いて大規模な住宅地が造成されてきました。2004年の九州新幹線の新八代―鹿児島中央間の先行開業以降、交通の利便性が大きく向上しています。
問6	答え 1 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。	シラスは火山から噴出した粒子の集まりであり、粒と粒の間に隙間が多いため、水を通しやすいという性質を持っています。そのため、水田に必要な水を溜めておくことが難しく、乾燥に強い作物を中心とした畑作が発達しました。
問7	答え 1 宮崎県の畜産産出額は、茨城県の野菜産出額よりも多い。	宮崎県の農業産出額（約3478億円）の66.4%を計算すると約2309億円となります。対して、茨城県の農業産出額（約4263億円）の35.9%は約1530億円です。このように、全体の産出額では茨城県が上回っていても、特定の品目（宮崎県の畜産）の占める割合が非常に高い場合、実際の産出額において逆転現象が起こります。統計資料を読み取る際は、割合（%）だけでなく、元となる総額を考慮することが重要です。
問8	答え 1 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問9	答え 1 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。	鹿児島県には、過去の火山活動による噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広がっています。この地質は非常に水はけが良く、稲作に必要な水を保持しにくいという性質があるため、伝統的に水田よりも畑作が盛んになりました。現在では、この広大な土地を利用して、サツマイモや茶などの畑作、そして肉用牛や豚、鶏などの畜産が大規模に行われており、日本の食料供給基地としての役割を担っています。
問10	答え 3 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かしており、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。	九州地方には阿蘇山などの活火山が多く、地下の熱源を確保しやすいという地理的条件が揃っています。地熱発電は、太陽光や風力といった他の再生可能エネルギーとは異なり、昼夜や天候を問わず一定の発電量を維持できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問11	答え 1 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。

1. きゅうり 2. さつまいも 3. てんさい 4. ねぎ

1. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい

2. 川が運んだ土砂でできており、水を通しにくい

3. 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している

4. サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い

1. シラス台地が広がり水持ちが悪い土地を活かして、食用鶏などの畜産業や、温暖な気候を利用した茶の栽培が盛んに行われている。
2. 夏の涼やかな気候を活かしたキャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が中心であり、畜産業は小規模に留まっている。
3. 広大な平野部を利用した稲作の単作地帯であり、米の生産量が県内農業産出額の大部分を占めている。
4. リアス海岸の入り江を利用した真珠やカキの養殖が産業の柱であり、内陸部の畜産業は県北の一部に限られている。

1. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため

2. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため

3. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため

4. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため

1. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 2. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 3. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 4. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚類の養殖

1. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。
2. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。
3. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。
4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。

1. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。
2. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。
3. 火山の噴火によって形成された大規模な干ば地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。
4. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。

1. 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。
2. リアス海岸が発達しているため、隣接する県の数が極端に少なくなっている。
3. 県全体が広大な平野で構成されており、海に面した部分が多いためである。
4. 九州地方の中央部に位置し、周囲を海に囲まれた内陸島のような性質を持つためである。

1. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低い、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。
2. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができていたため、九州地方の全県が収穫量が全国トップ10に入っている。
3. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。
4. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。

1. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。
2. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。
3. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。
4. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。

1. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。
2. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。
3. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。
4. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。

1. 出生率が全国的に見ても高く、死亡数を上回る自然的増加が続いているため
2. 他県から移住してくる高齢者が多いため、死亡率が全国で最も低くなっているため
3. 観光産業の発展により、県外からの労働者が転入し続ける社会的増加が主な要因であるため
4. 若年層の他県への流出合計特殊出生率が急激に減少しているため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 きゅうり	宮崎平野では冬の温暖な気候を利用して、きゅうりの栽培が非常に盛んに行われています。選択肢にある「さつまいも」は隣の鹿児島県、「てんさい」は北海道が主な産地として知られています。宮崎県はこのきゅうりなどの生産において、全国でもトップクラスのシェアを誇ります。
問2	答え 1 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい	シラス台地は過去の火山活動による火砕流などの噴出物が積み重なって形成されました。この土壌は粒子が粗く「水を通しやすい（水はけが良い）」という特性を持っています。そのため、常に水を張る必要がある水田稲作には向かず、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして畜産を中心とした農業が発展してきました。
問3	答え 1 シラス台地が広がり水持ちが悪い土地を活かして、食用鶏などの畜産業や、温暖な気候を利用した茶の栽培が盛んに行われている。	南九州に位置する宮崎県や鹿児島県には、火山灰が堆積してできたシラス台地が広く分布しています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や畜産業が発展してきました。宮崎県ではこの土地条件を活かし、食用鶏（ブロイラー）や豚、肉用牛などの畜産が全国屈指の規模で行われており、さらに温暖な気候を利用した茶の生産も全国4位の規模を誇るなど、独自の農業形態を築いています。
問4	答え 2 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため	南西諸島は地理的に「台風の道」とも呼ばれる進路上に位置しており、毎年のように強い暴風雨に見舞われます。そのため、民家の周囲に防風壁としての石垣を築いたり、重い漆喰で屋根瓦を固定したりすることで、強風による被害を最小限に抑える建築様式が発達しました。選択肢にある積雪や火山灰への対策は、他の地域（豪雪地帯や火山周辺）で見られる工夫です。
問5	答え 1 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成	北九州市はかつて激甚な公害に見舞われたが、市民・企業・行政の協力によりこれを克服した歴史を持つ。現在ではその技術やノウハウを生かし、廃棄物リサイクル施設などを集積させたエコタウン事業を展開し、環境産業都市としての発展を目指している。
問6	答え 2 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。	北九州工業地帯は、かつては筑豊炭田の石炭と中国からの鉄鉱石を利用した官営八幡製鉄所を中心に、金属工業が圧倒的な割合を占めていました。しかし、エネルギー革命による炭鉱の閉鎖や産業構造の変化を経て、現在は自動車産業を中心とした機械工業が発展しています。製造品出荷額の内訳でも、機械工業が約4割を占め、金属工業を上回る構成へと変化している点が重要な特徴です。
問7	答え 1 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。	九州南部に広がるシラス台地は、火山活動の噴出物である灰白色の「シラス」という土の層で構成されています。この土壌は非常に水はけがよく、水を溜めることが難しいため、水田稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が発展しました。
問8	答え 1 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。	鹿児島県は、薩摩半島・大隅半島という2つの大きな半島のほかに、多くの有人・無人の離島を抱えています。海岸線の長さは島が多いほど増える傾向にあるため、このような統計結果となります。また、地理的な位置関係から、陸上で境界を接しているのは宮崎県のみという特徴があります。リアス海岸は海岸線を複雑にしますが、それが隣接県数の少なさ（1県）に直結する理由ではありません。
問9	答え 1 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。	日本の食料自給率は品目によって大きな差があります。主食である米は国内でほぼ自給できていますが、小麦は海外からの輸入に頼る割合が高く、自給率は10%から20%程度の低い水準にとどまっています。しかし、国内での生産も継続されており、広大な農地を持つ北海道が最大の産地であるほか、九州地方の福岡県、佐賀県、熊本県などは全国的に見ても非常に高い収穫量を誇る重要な産地としての役割を担っています。
問10	答え 1 カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。	阿蘇山のカルデラ内やその外輪山には広大な草原が形成されており、古くから畜産（放牧）が盛んに行われてきました。シラス台地は主に鹿児島県から宮崎県にかけて広がる地形で、阿蘇山そのものの特徴とは区別して理解する必要があります。
問11	答え 1 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問12	答え 1 出生率が全国的に見ても高く、死亡数を上回る自然的増加が続いているため	沖縄県は伝統的に出生率が高い傾向にあり、日本の多くの自治体で出生数が死亡数を下回る「自然的減少」が深刻化する中で、出生数が死亡数を上回る「自然的増加」を維持している稀な例です。問題文の統計値からも、死亡率に対して出生率が高いことが人口を押し上げる要因になっていることが読み取れます。沖縄県の人口問題を考える際は、長寿といったイメージに惑わされず、この「高い出生率による自然的増加」を正しく把握する必要があります。